

第Ⅶ章 メニュー提案チラシに関する分析

第Ⅶ章 メニュー提案チラシに関する分析

1. メニュー提案チラシの利用状況

スーパーや食肉店の店頭などにおいてある、メニュー提案チラシについて、その利用状況を調べたところ、

- ①「もらったことがあり、作ったこともある」という回答が **43.5%**
- ②「もらったことはあるが、作ったことはない」という回答が **28.8%**
- ③「見かけたことはあるが、もらったことはない」という回答が **16.5%**
- ④「見かけたことがない」という回答が **11.2%**

であった。

利用状況に関わらず、見かけたことがあるという回答が **88.8%**あり、「食肉を販売している売場に行けば場合によってはメニュー提案チラシをもらうことができる」という認知は比較的高い状況にあるといえる。

「もらったことがあり、作ったこともある」という回答が **43.5%**であることから、比較的多くの家庭でメニュー提案チラシが有効活用されていることが確認できた。2節以降ではこれらメニュー提案チラシに対して、どのような要望があるのかにつき、分析を行っていく。

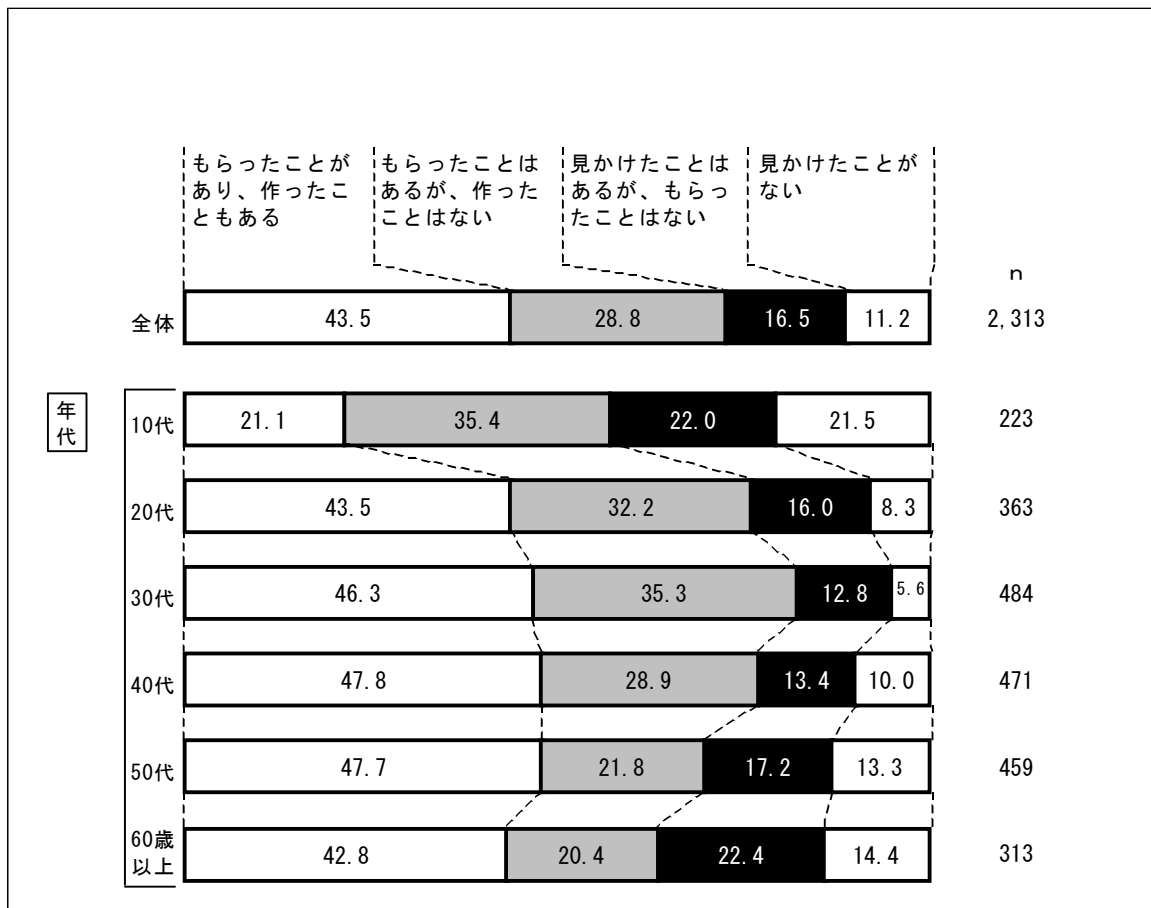
一方、「もらったことはあるが、作ったことはない」という回答が **28.8%**あるということは、メニュー提案チラシに、「作ってもらうための工夫」をする必要があることを物語っている。「なぜ作るに至らなかったのか」について調査し、対応策を検討することはメニュー提案チラシを作成するサイドにとって有意義になることから、次回以降の調査課題としたい。

「見かけたことはあるが、もらったことはない」という回答は **16.5%**を占めており、これらの層はメニュー提案チラシを活用する意向がないことを示している。但し、提案するメニューが魅力的なものであれば「もらって、作ってもらえる」可能性もあり、魅力的なメニュー提案が必要となってくる。

1. 1. メニュー提案チラシ利用状況の年代別特徴

図表Ⅷ-1 年代別メニュー提案チラシ利用状況

(単位:%)



「もらったことがあり、作ったこともある」というメニュー提案チラシの利用経験を示す項目については「10代」が「全体」の半分にも満たない21.1%と、極度に低い数値になっている点が特徴的である。

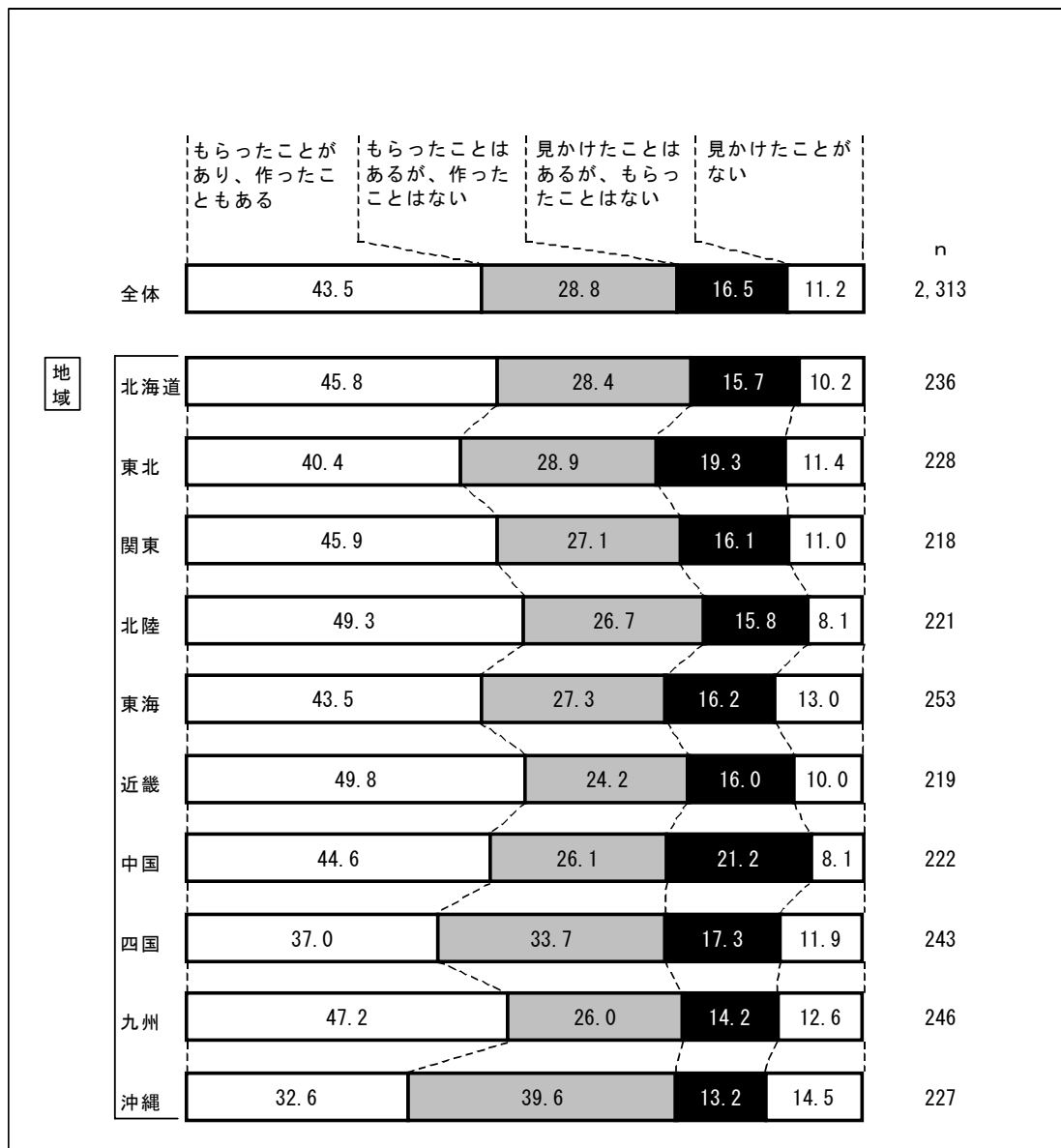
「10代」は全体的にメニュー提案チラシに対する利用意向や認知が低く、「そもそもあまり食事を作らない」、もしくは「メニュー提案チラシを活用する意向が低い」ことを示している。

特殊である「10代」を除くと、「60歳以上」で利用経験が42.8%と比較的低い状況にあることも特徴的である。「見かけたことはあるが、もらったことはない」率も22.4%と全年代で最も高く、「60歳以上」のメニュー提案チラシ利用意向が低い状況にあることがわかる。

1. 2. メニュー提案チラシ利用状況の地域別特徴

図表Ⅶ-2 地域別メニュー提案チラシ利用状況

(単位:%)

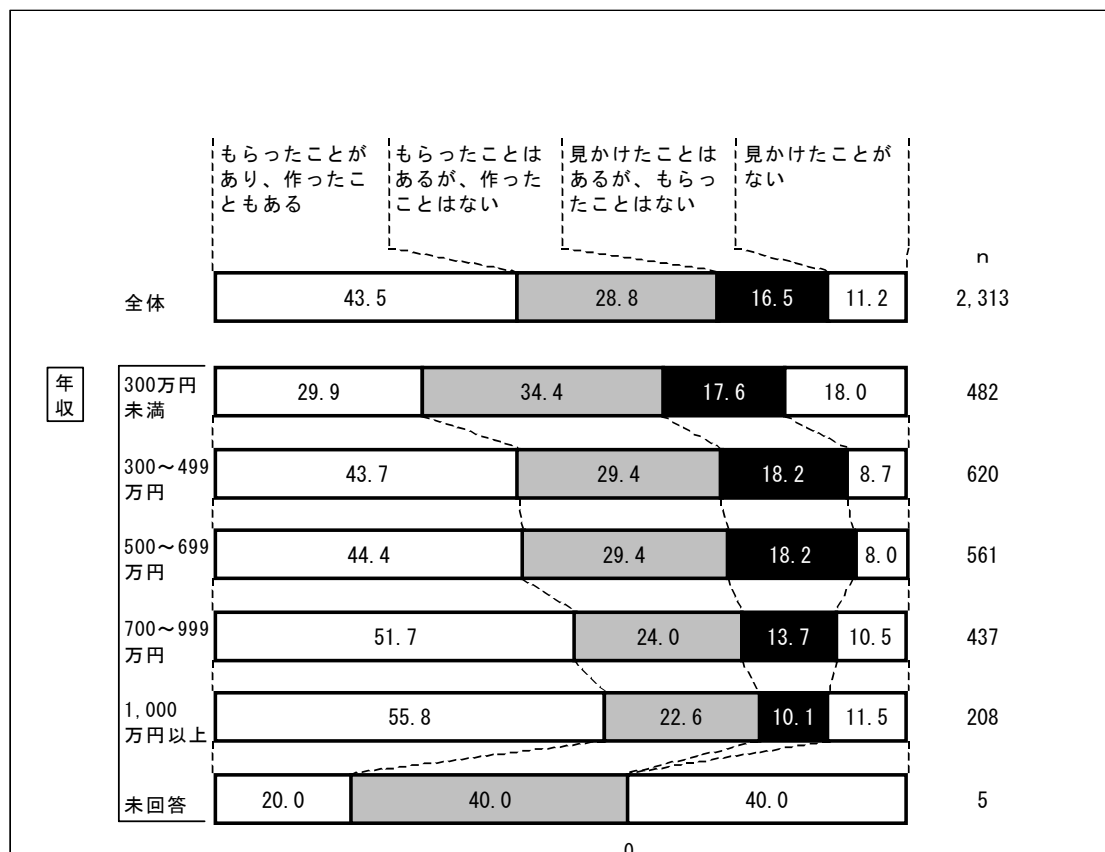


「近畿」ではほぼ半数近く（49.8%）のメニュー提案チラシ利用経験があるのに対し、「沖縄」は最も利用経験が少なく 32.6%にとどまった。「沖縄」では「もらったことはあるが、作ったことはない」比率が 39.6%と他地域と比較して最も高い状況にあることから、沖縄のニーズにあったメニュー提案チラシの開発・改善が必要とされていることが想定できる。

1. 3. メニュー提案チラシ利用状況の世帯年収別特徴

図表Ⅶ-3 世帯年収別メニュー提案チラシ利用状況

(単位:%)



メニュー提案チラシの利用経験を見ると、年収の増加とともに利用経験も高まる傾向にあることがわかる。

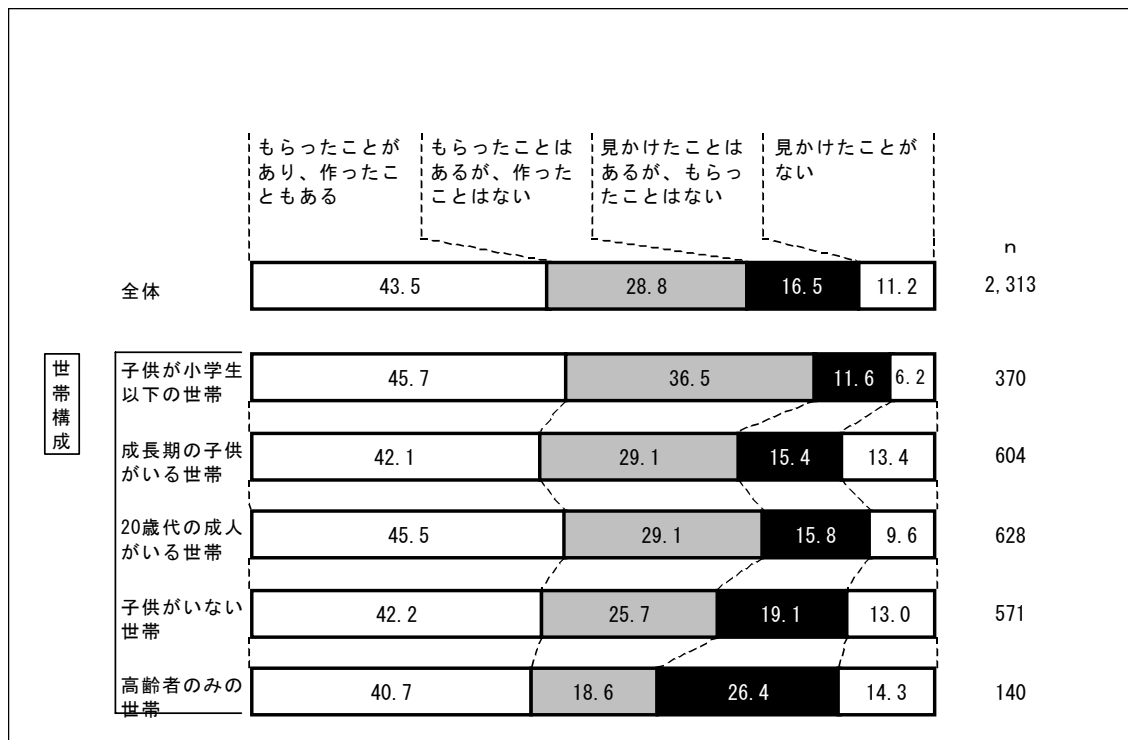
逆に、「もらったことはあるが、作ったことはない」比率は年収の増加とともに減少する傾向にある。

世帯年収「300万円未満」の世帯では、「見かけたことがない」比率が18.0%と突出して高かったことも特徴的であった。

1. 4. メニュー提案チラシ利用状況の世帯構成別特徴

図表Ⅶ-4 世帯構成別メニュー提案チラシ利用状況

(単位:%)



メニュー提案チラシ利用経験は、「子供が小学生以下の世帯」で最も高く、「高齢者のみの世帯」で最も低い状況にあることがわかった。「子供が小学生以下の世帯」では、メニュー提案チラシなどを活用してバリエーション豊かな食事しようとしているため、利用経験が高くなっていることが想定された。一方、「高齢者のみの世帯」では、これまで既に豊富な料理経験を持っていることから、定番メニューが決まっている、あるいは新たに作り方を知りたいメニューがほとんどない、などの理由により利用経験が低くなっていることが想定された。

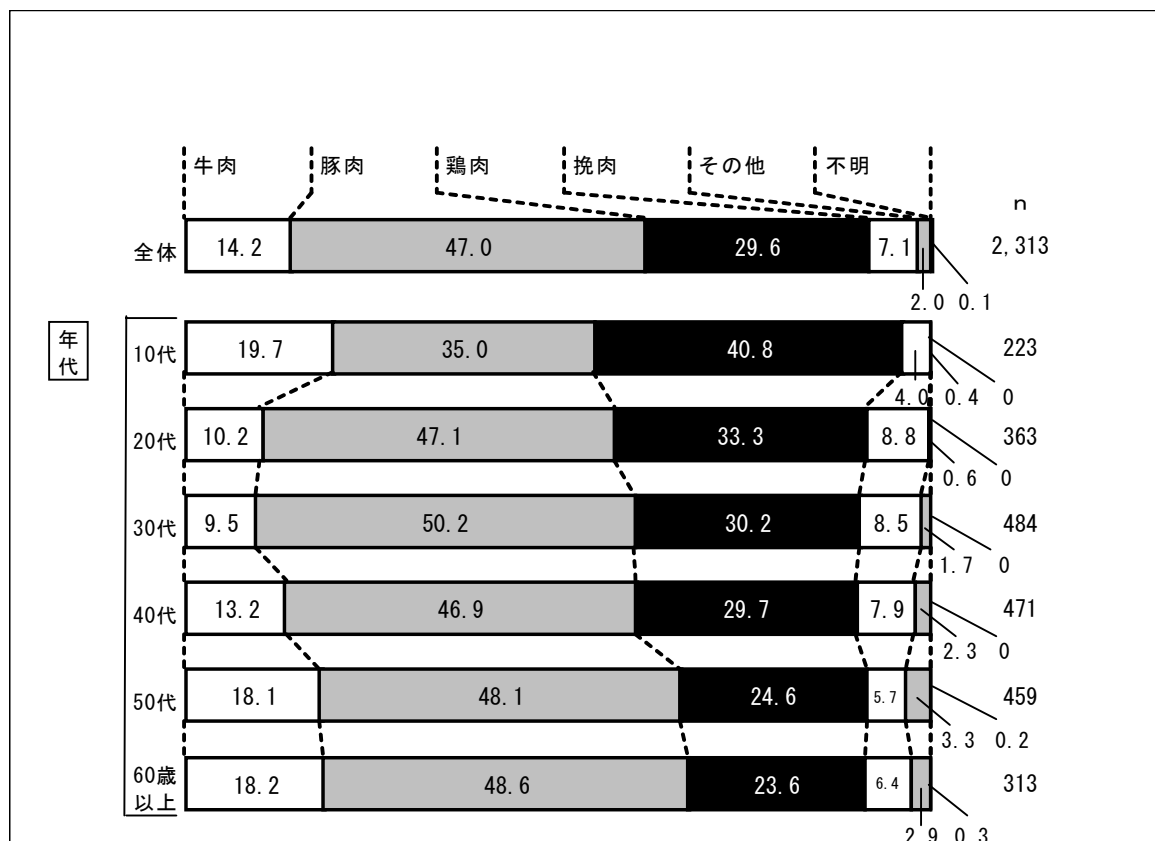
「見かけたことはあるが、もらったことはない」比率が、利用経験とは逆に、「高齢者のみの世帯」で最も高く、「子供が小学生以下の世帯」で最も低い状況になっていることも、上記で想定した理由が当てはまる。

2. 希望する食肉の種類

2. 1. メニュー提案チラシ希望食肉種類の年代別特徴

図表Ⅶ-5 年代別メニュー提案チラシ希望食肉種類

(単位:%)



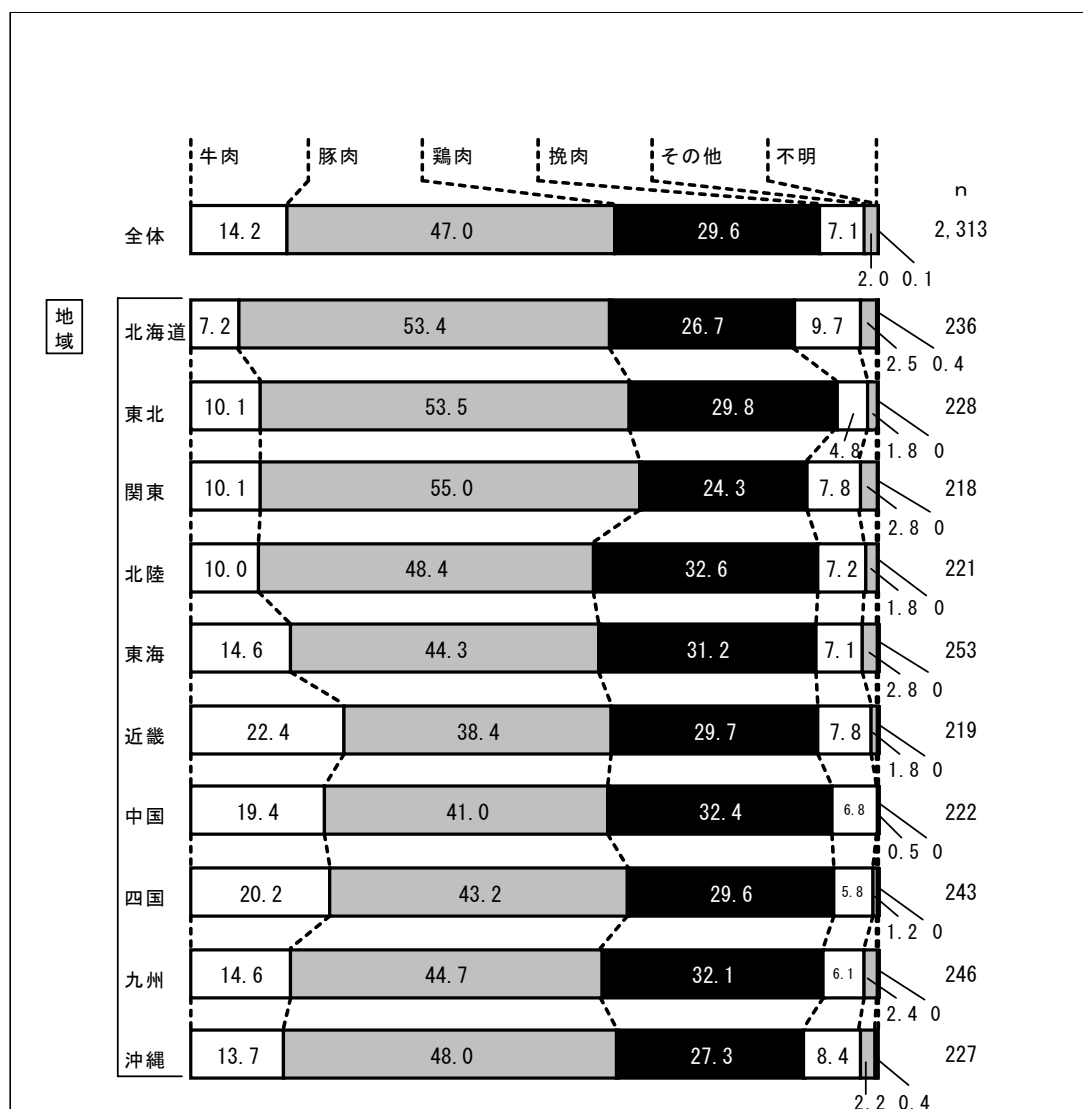
メニュー提案チラシとして、最も望まれている食肉の種類は「豚肉」の料理であった。「豚肉」料理メニューを最も強く希望しているのが「30代」であり、「10代」が最も低い数値となった。

一方、「鶏肉」料理メニューについては年齢が減少するとともにニーズが高くなる傾向にあり、「10代」においては、「豚肉」(35.0%)以上に「鶏肉」(40.8%)料理メニューのニーズが高く特徴的である。このことは、おそらくは「鶏肉」が高タンパク低カロリー食材であることからダイエット料理に適しており、若年層の方が高齢者よりもダイエット料理ニーズが高いことによるものであると想定された。

2. 2. メニュー提案チラシ希望食肉種類の地域別特徴

図表Ⅶ-6 地域別メニュー提案チラシ希望食肉種類

(単位:%)

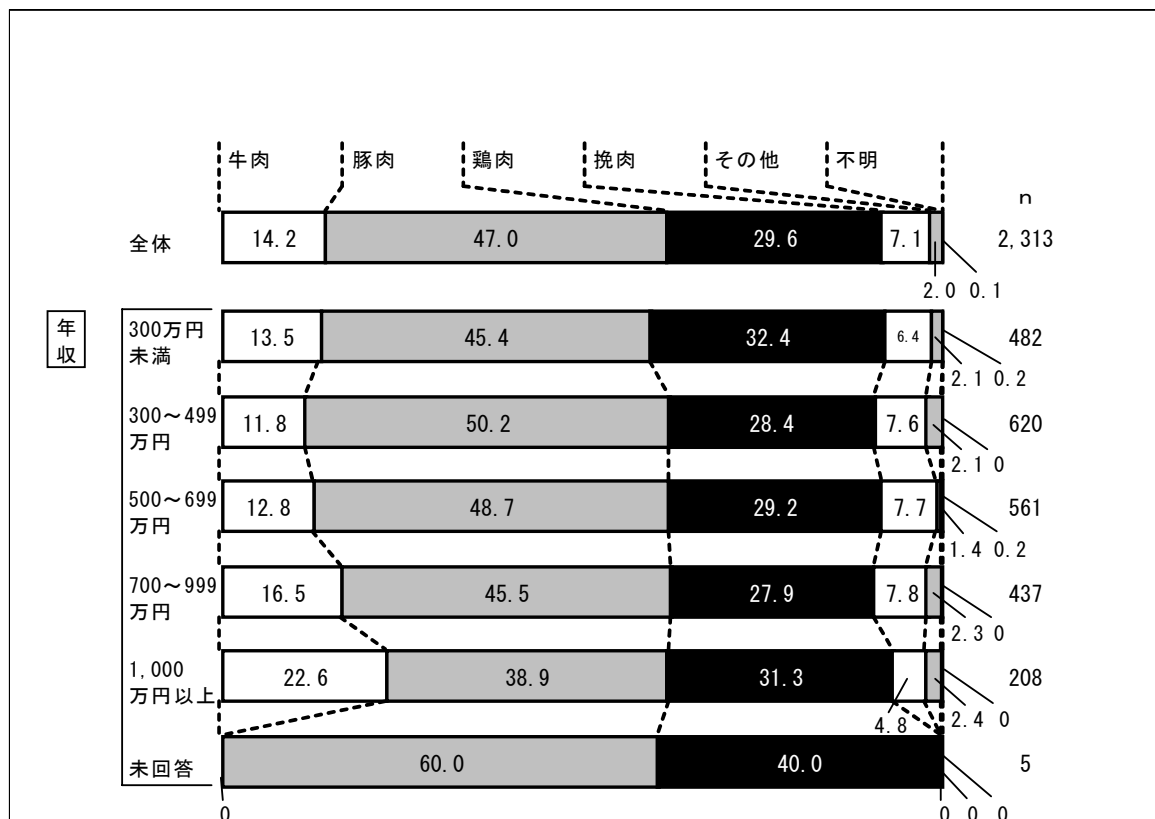


料理メニューの分析同様（図表Ⅴ-8 参照）、メニュー提案チラシに求められる食肉種類についても、牛肉文化である「近畿」、「中国」、「四国」では「牛肉」料理メニューの要望が高く、豚肉文化である「北海道」、「東北」、「沖縄」は「豚肉」料理メニューの要望が高かった。また、今回、「関東」で「豚肉」料理の要望が多かった点が特徴的であった。「鶏肉」料理メニューは「北陸」、「東海」、「中国」、「九州」でニーズが高かった。

2. 3. メニュー提案チラシ希望食肉種類の世帯年収別特徴

図表Ⅷ-7 世帯年収別メニュー提案チラシ希望食肉種類

(単位:%)

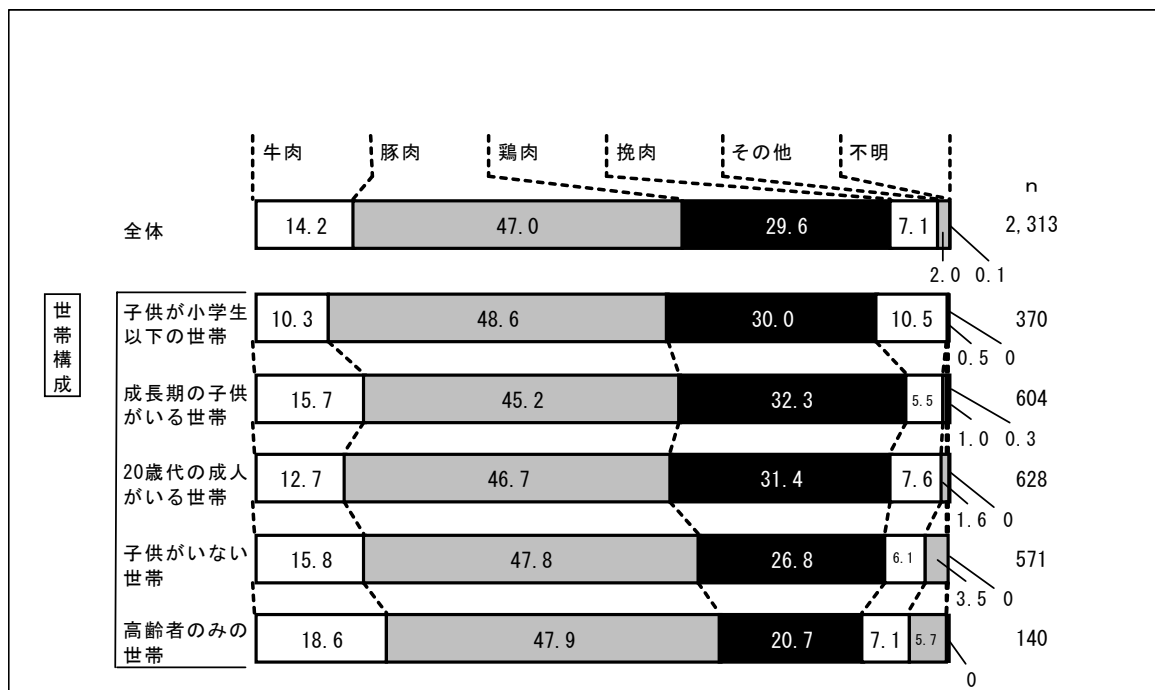


「牛肉」料理メニューのニーズは、世帯年収「300~499万円」以降の世帯において、年収の上昇とともにニーズが高まる傾向にあり、逆に「豚肉」料理メニューのニーズは、世帯年収「300~499万円」以降の世帯において、年収の上昇とともにニーズが低くなる傾向にある。これらの状況は「図表Ⅴ-9 夕食の献立使用食材の世帯年収別特徴」と同様の傾向を示していることから、消費者はメニュー提案チラシに対して、日頃自分がよく利用する食材の調理方法に対するニーズが高く、あまり使わない食材の調理方法に対するニーズはそれほど高くないということがわかる。

2. 4. メニュー提案チラシ希望食肉種類の世帯構成別特徴

図表Ⅶ-8 世帯構成別メニュー提案チラシ希望食肉種類

(単位:%)



「牛肉」料理メニューのニーズは「高齢者のみの世帯」で最も高く、これについても「図表Ⅴ-10 夕食の献立使用食材の世帯構成別特徴」と同様の傾向を示していることがわかる。

但し、「豚肉」料理メニューのニーズは「子供が小学生以下の世帯」で最も高くなっており、「鶏肉」料理メニューのニーズは「成長期の子供がいる世帯」で最も高く、いずれも使用食材の傾向とは一致しなかった。

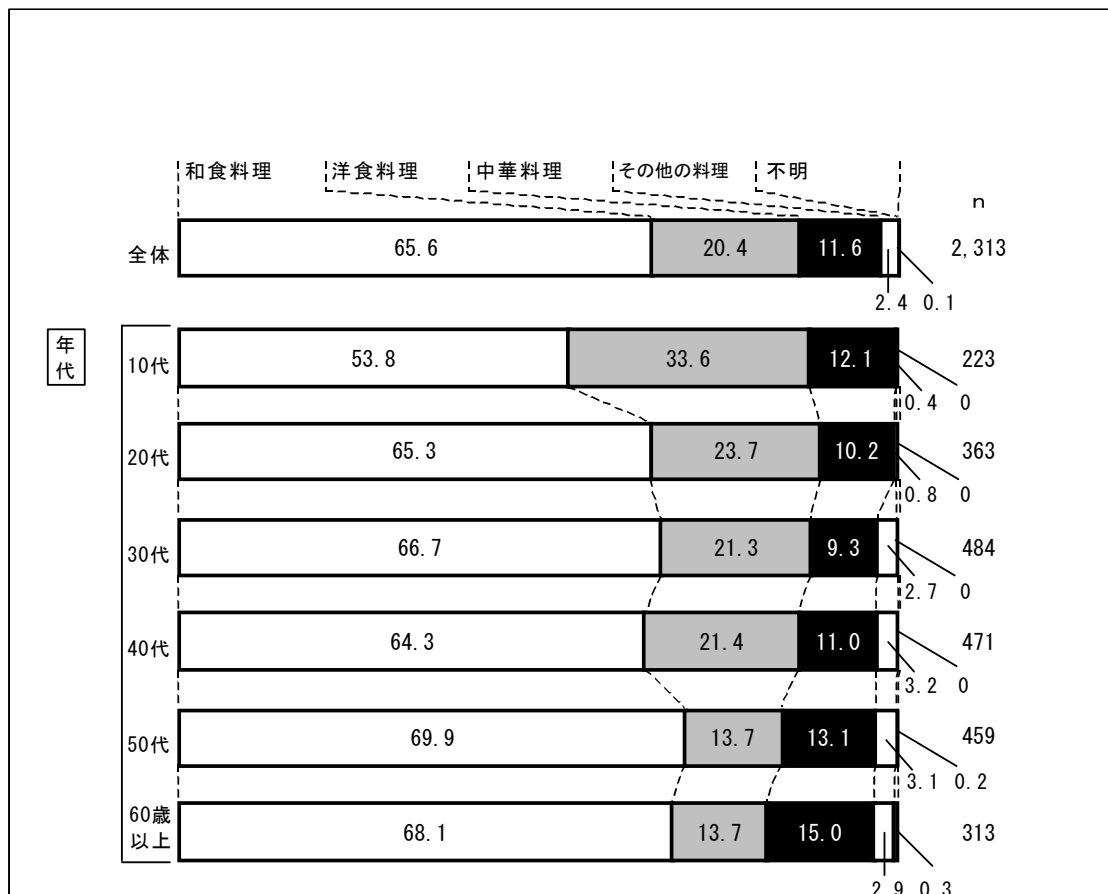
「鶏肉」料理メニューのニーズが「高齢者のみの世帯」で突出して低くなっている点が特徴的で、このことは年代別分析とも一致する。

3. 希望する料理種類

3. 1. メニュー提案チラシ希望料理種類の年代別特徴

図表Ⅶ-9 年代別メニュー提案チラシ希望食肉種類

(単位:%)



メニュー提案チラシに対し、希望する料理種類としては「全体」で「和食料理」メニューに対するニーズが最も高かった。次いで「洋食料理」、「中華料理」という順だった。

年代別に見てみると、「和食料理」ニーズは「50代」で最も高く、「10代」で突出して低い状況となった。

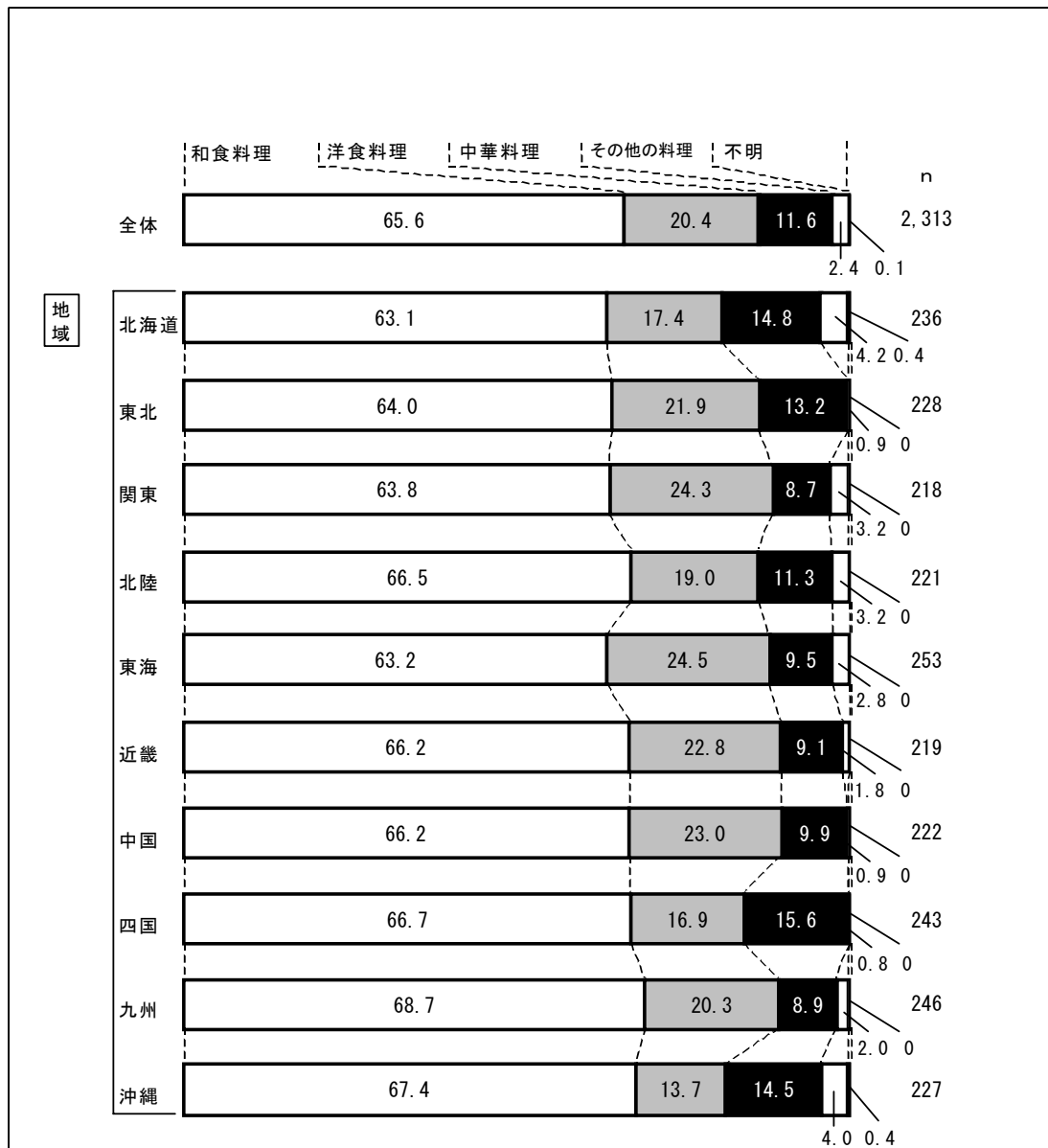
一方、「洋食料理」ニーズについては「10代」が突出して高く、以降おおむね年齢の上昇とともにニーズが下がっていく傾向にある。

若年層の和食離れについては、「10代」では確かにその傾向があると言えるが、「20代」については、「30代」以降と比較してそれほど大きな格差があるわけではないことがわかる。

3. 2. メニュー提案チラシ希望料理種類の地域別特徴

図表Ⅶ-10 地域別メニュー提案チラシ希望食肉種類

(単位:%)



「和食料理」ニーズについては、地域による差がそれほどない。

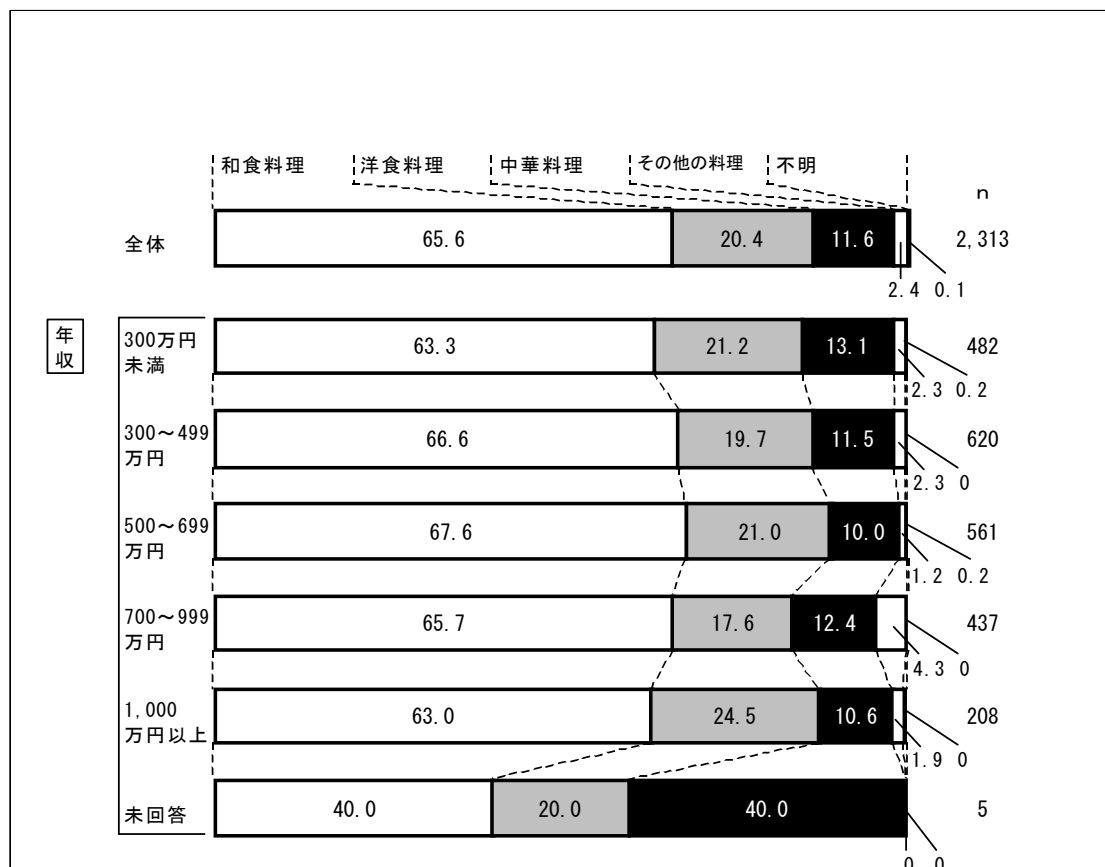
「洋食料理」ニーズは「東海」で最も高く、「沖縄」が突出して低い点が特徴的である。

「中華料理」ニーズは「四国」、「北海道」、「沖縄」で高く、「関東」、「九州」で低くなった。

3. 3. メニュー提案チラシ希望料理種類の世帯年収別特徴

図表Ⅶ-11 世帯年収別メニュー提案チラシ希望食肉種類

(単位:%)



「和食料理」ニーズについては、世帯年収により大きく異なることがなく、65%前後となっている。

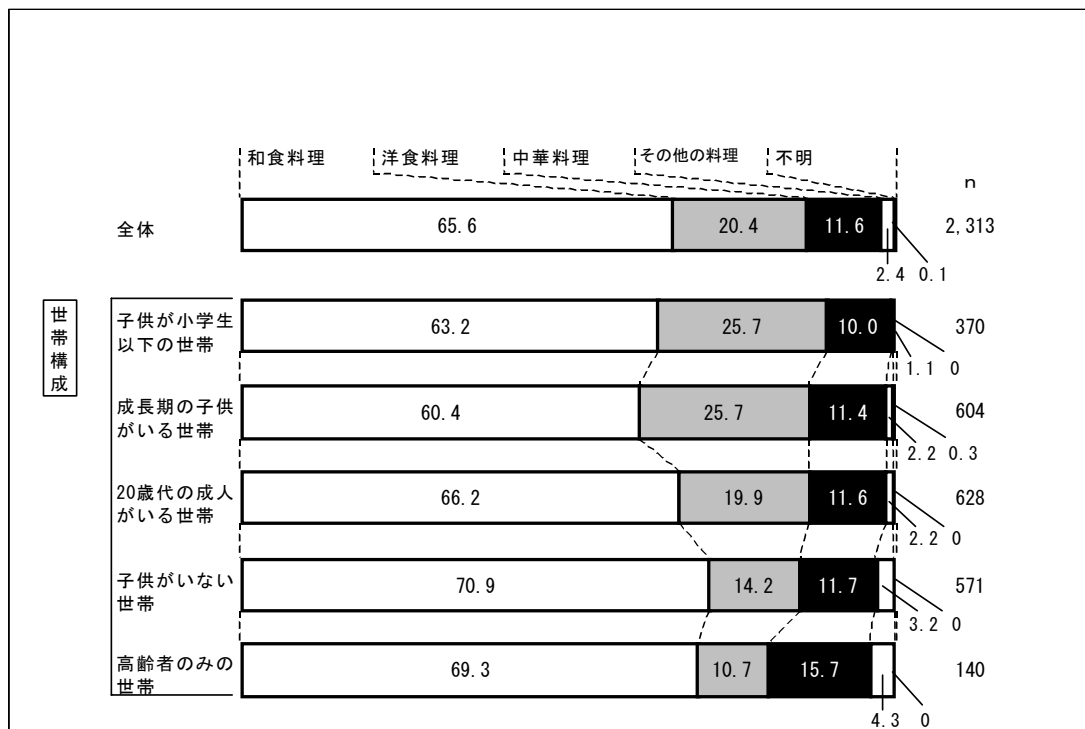
「洋食料理」ニーズは、世帯年収「1,000万円以上」世帯で最も高く、「700~999万円」世帯で最も低くなっている。

「中華料理」ニーズについては、世帯年収「300万円未満」世帯で最も高く、「500~699万円」世帯で最も低くなった。

3. 4. メニュー提案チラシ希望料理種類の世帯構成別特徴

図表Ⅶ-12 世帯構成別メニュー提案チラシ希望食肉種類

(単位:%)



「和食料理」ニーズは、「子供がいない世帯」で最も高く、「成長期の子供がいる世帯」で最も低かった。

「洋食料理」ニーズについては、ライフスタイルの進展とともに減少する傾向にあり、年代別分析とおおむね一致した。特に「子供が小学生以下の世帯」と「成長期の子供がいる世帯」が同じ比率で突出してニーズが高いことは、「子供が洋食を食べたがるので洋食料理メニューが欲しい」という構造になっているものと想定され、「10代」で「洋食料理」メニューのニーズが高かったこととも一致する。

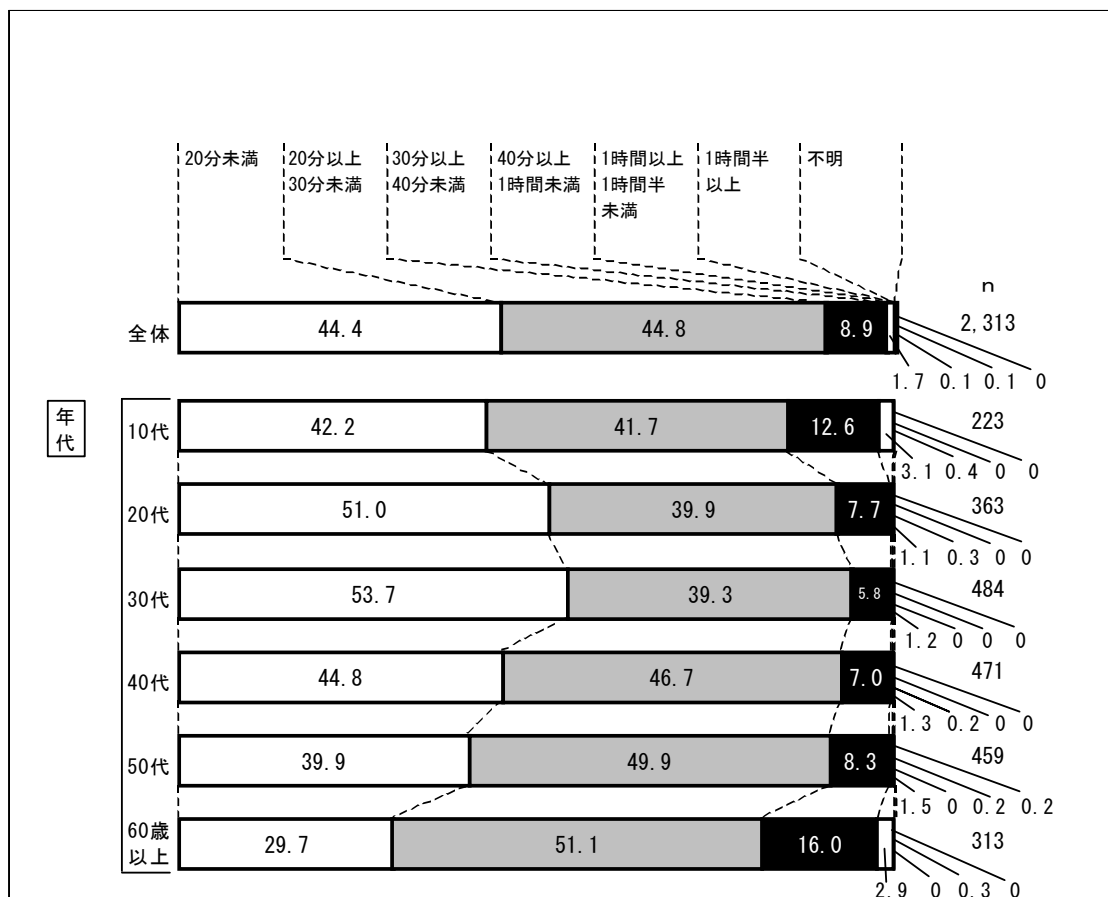
「中華料理」ニーズについては、「洋食料理」とは逆に、ライフスタイルの進展とともに増加する傾向にある点が特徴的である。

4. 希望する調理時間

4. 1. メニュー提案チラシ希望調理時間の年代別特徴

図表Ⅶ-13 年代別メニュー提案チラシ希望調理時間

(単位:%)



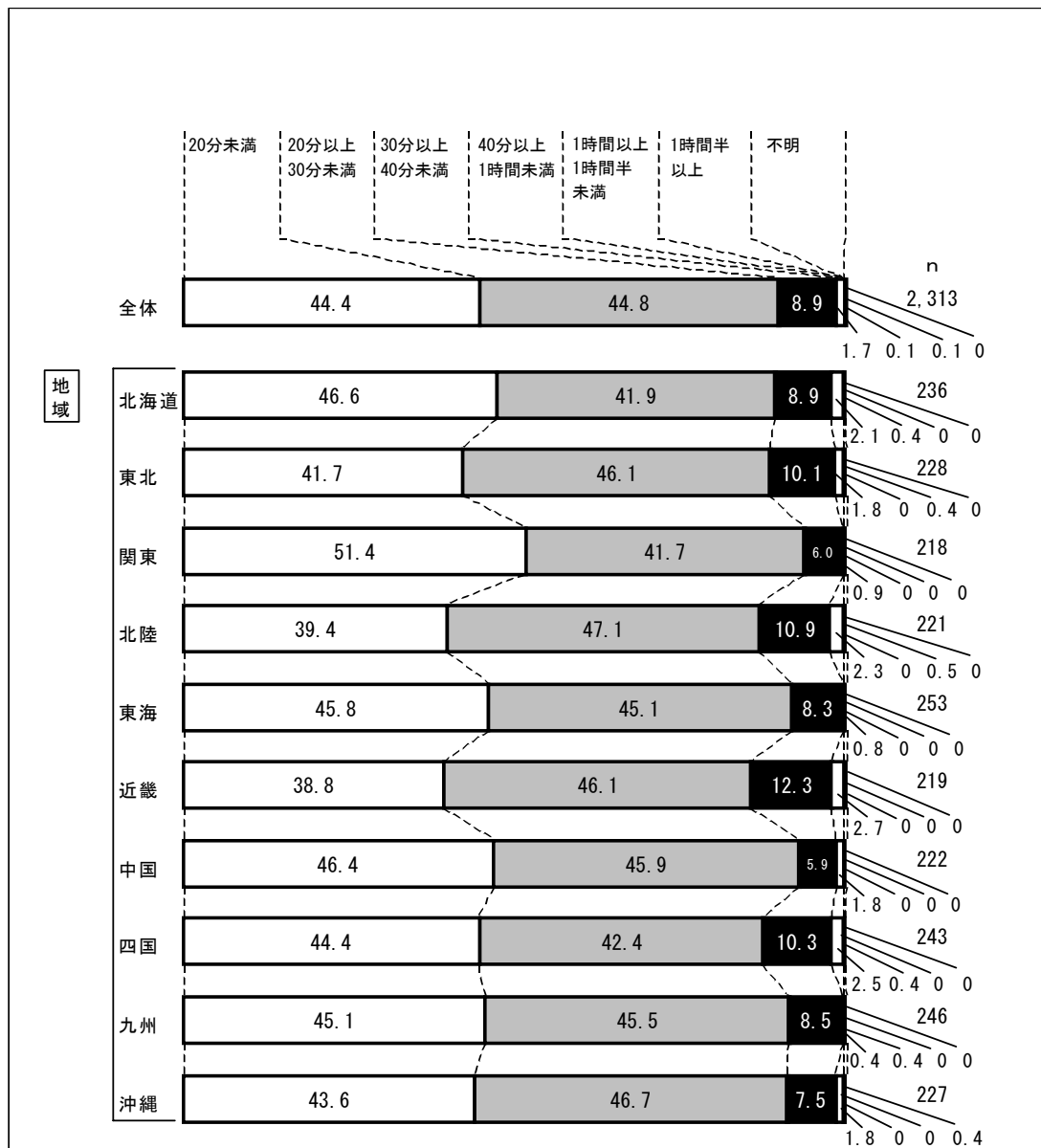
「調理時間」ニーズについては、「全体」として見ると「20分未満」と「20分以上30分未満」がほぼ同率で、両者を合わせると89.2%となることから、「30分以内で調理を終えたい」という消費者ニーズが高いことがわかる。

「20分未満」の調理時間ニーズは「10代」から年齢の上昇とともに増加し、「30代」でピークを迎え、以降年齢の増加とともにニーズは減少していく。これらは料理をする人の忙しさがやはり同様に「30代」をピークとしたカーブを描くであろうことと一致するものと想定される。比較的時間にゆとりがあることが想定される「60歳以上」において、「20分以上30分未満」及び「30分以上40分未満」の調理時間ニーズが最も高くなっている点も、上記の傾向と一致する。

4. 2. メニュー提案チラシ希望調理時間の地域別特徴

図表Ⅶ-14 地域別メニュー提案チラシ希望調理時間

(単位:%)

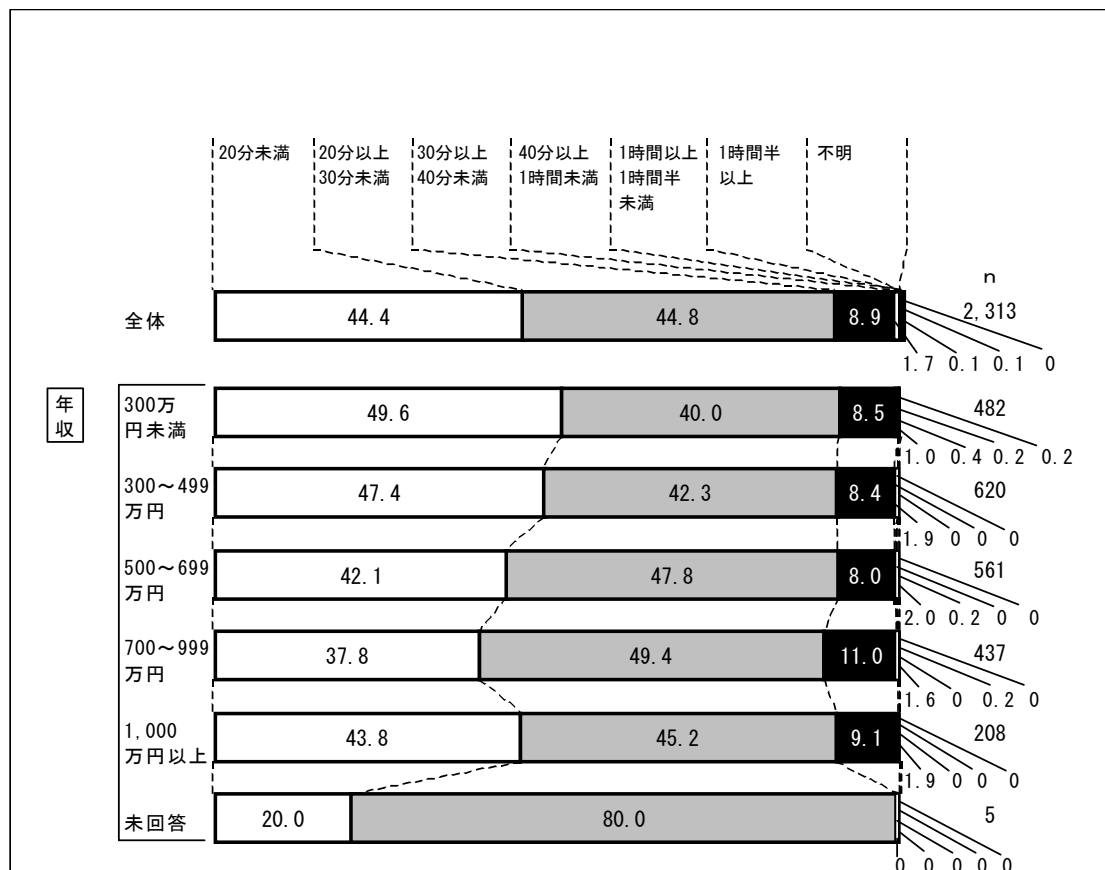


「20分未満」の調理時間ニーズが、「関東」で最も高い点が特徴的であった。関東では家事担当者が有職者であるケースも多いことが想定されるため、他の地域と比較して時間節約ニーズが高くなっていることが原因として考えられる。一方、最も低かったのは「近畿」であった。

4. 3. メニュー提案チラシ希望調理時間の世帯年収別特徴

図表Ⅶ-15 世帯年収別メニュー提案チラシ希望調理時間

(単位:%)



「20分未満」の調理時間ニーズは、世帯年収「300万円未満」世帯で最も高く、「700～999万円」世帯で最も低かった。

しかしながら、調理時間を「30分未満」として集計しなおすと、

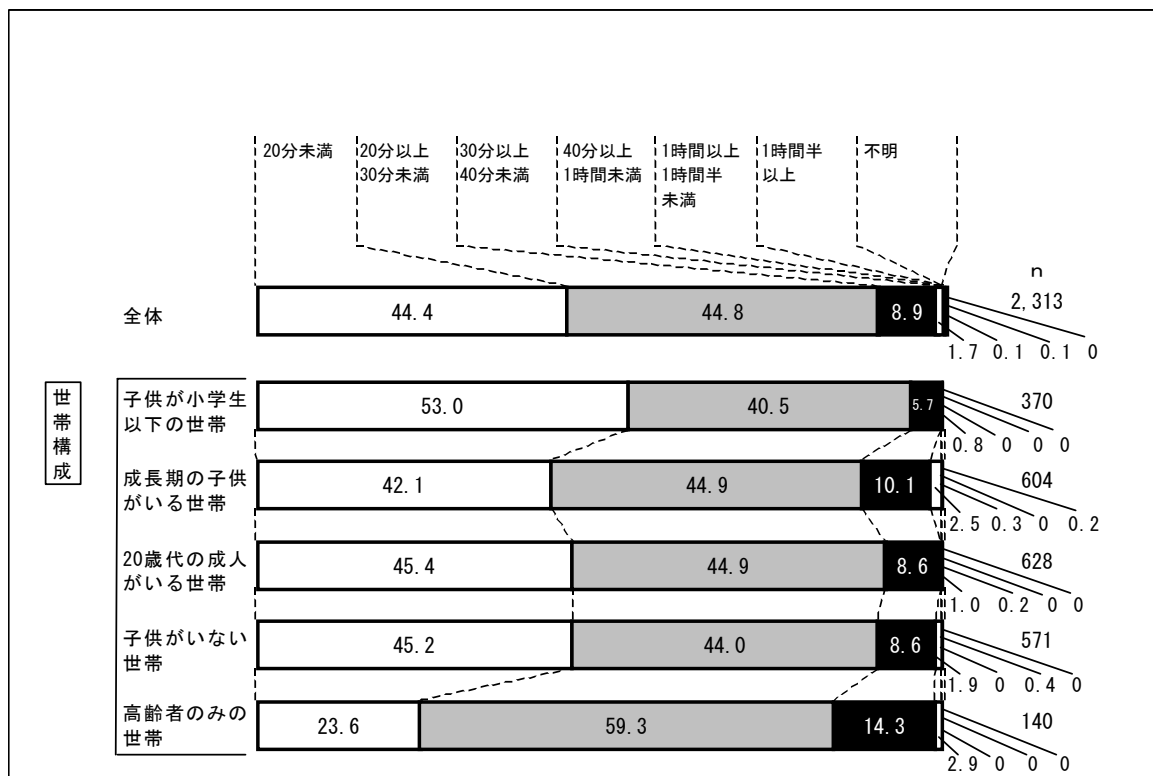
- ① 「300万円未満」世帯で 89.6%
- ② 「300～499万円」世帯で 89.7%
- ③ 「500～699万円」世帯で 89.9%
- ④ 「700～999万円」世帯で 87.2%
- ⑤ 「1,000万円以上」世帯で 89.0%

と、どの世帯もほぼ同様の状況となることから、世帯年収に応じて調理時間ニーズが大きく異なるようなことはあまりないことがわかる。

4. 4. メニュー提案チラシ希望調理時間の世帯構成別特徴

図表Ⅶ-16 世帯構成別メニュー提案チラシ希望調理時間

(単位:%)



「20分以内」の調理時間ニーズについては「子供が小学生以下の世帯」で極度に高く、最も低い「高齢者のみの世帯」の2倍以上の率となっている。

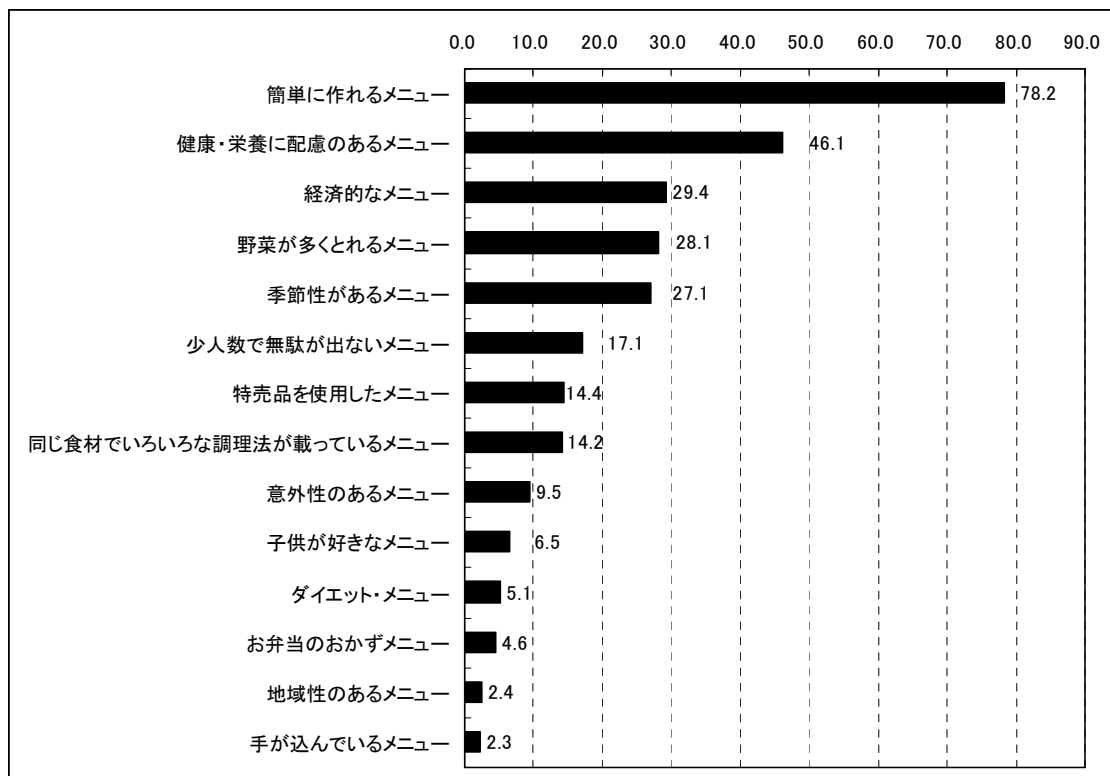
「子供が小学生以下の世帯」では子育てという家事負担が高いため、短時間の調理時間ニーズが高くなっているものと思われる。

一方、「高齢者のみの世帯」では、比較的時間的な余裕があることが想定されることから、「20分以内」という短時間の調理時間ニーズは低くなっていることが想定される。

5. 希望するレシピ内容

図表Ⅶ-17 メニュー提案チラシ希望レシピ内容

(単位:%)



どのようなレシピを希望するのかについて、3つまでの複数回答形式で質問した結果が「図表Ⅶ-17」である。

レシピとして最もニーズが高かったのが「簡単に作れるメニュー」であり、実に80%近くの人々が選択しており、消費者にとって時間価値が重要になっていることを物語っている。希望調理時間の分析とも合致する結果である。

次いで、大きく離れるが「健康・栄養に配慮のあるメニュー」のニーズが高い。近年の消費者の健康志向を裏付けるニーズの高さになっている。

さらに離れるが、「経済的なメニュー」、「野菜が多くとれるメニュー」、「季節性があるメニュー」のニーズが高くなっている。「経済的なメニュー」は合理的志向から、「野菜が多くとれるメニュー」は健康志向からと解釈できるが、「季節性のあるメニュー」がベスト5に入ったことは特徴的で、四季を楽しむ日本人ならではのニーズと言えそうである。

5. 1. メニュー提案チラシ希望レシピ内容の年代別特徴

図表Ⅶ-18 年代別メニュー提案チラシ希望レシピ内容

(単位:%)

	簡単に作れるメニュー	手が込んでいるメニュー	季節性があるメニュー	健康・栄養に配慮のあるメニュー	意外性のあるメニュー	少人数で無駄が出ないメニュー	経済的なメニュー	特売品を使用したメニュー	野菜が多くとれるメニュー	子供が好きなメニュー	お弁当のおかずメニュー	ダイエット・メニュー	地域性のあるメニュー	同じ食材でいろいろな調理法が載っているメニュー
10代	81.6	5.8	19.3	40.8	4.5	17.5	42.6	13.9	19.7	0.9	7.6	9.0	1.3	9.4
20代	84.6	3.6	26.4	47.4	8.5	16.5	30.3	16.3	29.5	6.6	5.8	4.7	0.8	9.9
30代	80.8	1.7	27.7	43.8	8.5	12.0	24.6	16.7	26.4	15.7	6.0	4.1	2.9	16.9
40代	79.8	2.1	29.9	46.1	12.7	11.3	32.9	18.0	26.3	8.5	4.0	3.2	3.0	11.5
50代	73.0	1.3	26.1	47.3	10.0	22.2	27.9	11.5	29.8	1.3	2.6	5.7	4.1	17.6
60歳以上	69.6	1.3	29.7	50.2	10.2	26.5	23.0	7.7	35.5	0.6	2.6	6.4	1.0	17.6

「図表Ⅶ-18」において、希望レシピごとに最も高い数値となった年代と最も低い数値となった年代に網掛けをした。

総じて「10代」は経済的・合理的志向を持っており、料理を短時間で手早く済ませることに重点を置いている。一方、「60歳以上」については、健康志向と無駄のない材料の使用を心がける傾向にあり、料理を家族や自分が幸せに過ごすためのものとして捉えていることが想定される。

「簡単に作れるメニュー」については「20代」で最も高く、仕事や料理以外の家事に忙しく、時間節約ニーズが高まっていることが理由として挙げられる。

「季節性があるメニュー」については、「10代」で突出して低いものの、それ以外の年代では総じてニーズが高くなっている点が特徴的であった。

「意外性のあるメニュー」が「40代」でニーズが高かった。このくらいの年代になると料理がマンネリ化してくることからこのようなニーズが高くなっているものと思われる。

「お弁当のおかずメニュー」は子供を持つ率の高い「30代」、「40代」についてニーズが高いことが想定されたが、最も高かったのは「10代」であった。おそらくは自らが食べるお弁当として、ニーズが高くなっているものと思われる。

5. 2. メニュー提案チラシ希望レシピ内容の地域別特徴

図表Ⅷ-19 地域別メニュー提案チラシ希望レシピ内容

(単位:%)

	簡単に作れるメニュー	手が込んでいるメニュー	季節性があるメニュー	健康・栄養に配慮のあるメニュー	意外性のあるメニュー	少人数で無駄が出ないメニュー	経済的なメニュー	特売品を使用したメニュー	野菜が多くとれるメニュー	子供が好きなメニュー	お弁当のおかずメニュー	ダイエット・メニュー	地域性のあるメニュー	同じ食材でいろいろな調理法が載っているメニュー
北海道	76.7	2.1	28.4	39.8	7.2	19.5	26.7	16.9	28.0	5.9	8.5	5.5	2.1	15.3
東北	78.5	3.5	27.6	48.7	9.6	15.8	28.5	14.9	27.2	5.7	6.6	7.9	4.4	11.0
関東	78.4	1.8	29.4	48.2	9.2	18.8	29.4	14.7	31.2	4.6	5.0	4.1	0.0	10.1
北陸	74.7	2.7	23.1	44.8	9.5	19.5	33.0	14.9	29.9	10.0	3.2	5.4	1.4	14.5
東海	86.6	2.0	27.3	43.9	9.1	16.2	30.0	13.8	27.7	5.1	3.2	1.6	1.6	15.4
近畿	77.2	1.4	29.7	45.7	15.5	17.8	28.8	15.1	28.3	6.4	3.7	5.9	2.3	11.0
中国	77.9	1.8	27.9	50.0	13.1	16.2	27.9	9.0	28.4	4.5	5.4	4.5	2.3	18.0
四国	78.6	4.5	27.2	47.3	7.4	15.6	31.7	14.0	28.0	8.6	1.6	4.1	1.6	12.3
九州	76.8	1.6	30.1	47.2	8.5	16.7	26.8	15.9	24.4	6.1	2.8	4.9	2.4	17.1
沖縄	75.8	1.8	20.3	45.8	6.6	15.0	30.8	14.5	29.1	7.9	6.2	7.5	6.2	17.2

地域ごとのレシピ・ニーズの違いは認められるものの、東日本と西日本というくくりで見ると、大きく異なるような違いは見られなかった。

「簡単に作れるメニュー」については、「東海」が突出してニーズが高くなっている点が極めて特徴的であった。「東海」では時間節約ニーズが特に高くなっていることが想定される。

「野菜が多くとれるメニュー」のニーズは「関東」で最も高かった。「関東」は「健康・栄養に配慮のあるメニュー」についても2番目に高いニーズとなっており、強い健康志向ニーズを持つ地域となっていることがわかる。

「地域性のあるメニュー」に対するニーズは「沖縄」で最も高くなっており、「関東」で最も低かった。「沖縄」では独自の料理文化を形成していることからこのようなニーズが高くなっているものと思われる。逆に「関東」では、首都圏であることから様々な地域から人口が流入しており、関東の地域性が失われていると消費者が感じていることから、「地域性のあるメニュー」に対するニーズが低くなっていることが想定された。

5. 3. メニュー提案チラシ希望レシピ内容の世帯年収別特徴

図表Ⅶ-20 世帯年収別メニュー提案チラシ希望レシピ内容

(単位:%)

	簡単に作れるメニュー	手が込んでいるメニュー	季節性があるメニュー	健康・栄養に配慮のあるメニュー	意外性のあるメニュー	少人数で無駄が出ないメニュー	経済的なメニュー	特売品を使用したメニュー	野菜が多くとれるメニュー	子供が好きなメニュー	お弁当のおかずメニュー	ダイエット・メニュー	地域性のあるメニュー	同じ食材でいろいろな調理法が載っているメニュー
300万円未満	80.7	3.1	21.4	45.0	6.2	20.1	33.0	13.5	24.5	3.9	5.8	6.6	2.5	13.3
300～499万円	80.8	1.9	24.7	46.0	7.9	16.5	31.5	14.8	28.2	8.9	3.4	4.7	2.1	15.3
500～699万円	77.0	1.8	28.9	46.2	10.0	16.0	28.2	16.2	26.7	8.9	5.5	4.3	1.4	14.8
700～999万円	75.5	2.5	32.7	47.6	12.4	15.1	26.8	14.6	30.7	4.8	4.8	4.3	3.2	14.0
1,000万円以上	74.0	2.9	31.3	45.7	14.9	18.3	22.1	9.6	35.6	2.4	1.9	6.7	4.3	12.5
未回答	60.0	0.0	20.0	40.0	0.0	40.0	80.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0

図表Ⅶ-20において、「未回答」を除いて、最も高かった数値と最も低かった数値について網掛け行っている。

「簡単に使えるメニュー」では、「300～499万円」以上の世帯において、年収が増加するほど、ニーズが減少する傾向にある。

「季節性があるメニュー」は「1,000万円以上」の世帯を除くと、年収の増加とともにニーズが増加していく傾向にある。年収が高くなると季節を楽しむ志向が強くなっていくことがわかる。

「健康・栄養に配慮のあるメニュー」に対するニーズは年収の違いにより大きく異なることはなく（最高と最低の差が2.6ポイント）、年収に関わらずニーズが高くなっている項目であることがわかる。

「意外性のあるメニュー」は年収の増加とともにニーズが増加しており、逆に「経済的なメニュー」は年収の増加とともにニーズが減少してする傾向にある。

5. 4. メニュー提案チラシ希望レシピ内容の世帯構成別特徴

図表Ⅶ-21 世帯構成別メニュー提案チラシ希望レシピ内容

(単位:%)

	簡単に作れるメニュー	手が込んでいるメニュー	季節性があるメニュー	健康・栄養に配慮のあるメニュー	意外性のあるメニュー	少人数で無駄が出ないメニュー	経済的なメニュー	特売品を使用したメニュー	野菜が多くとれるメニュー	子供が好きなメニュー	お弁当のおかずメニュー	ダイエット・メニュー	地域性のあるメニュー	同じ食材でいろいろな調理法が載っているメニュー
子供が小学生以下の世帯	82.4	1.1	26.8	42.7	10.0	8.1	27.6	17.8	25.1	25.7	5.1	2.2	1.9	11.9
成長期の子供がいる世帯	80.8	3.1	26.2	45.0	8.8	10.9	38.2	16.6	23.2	4.5	6.1	5.3	2.8	11.8
20歳代の成人がいる世帯	80.7	3.0	26.6	49.8	9.4	15.6	29.1	13.9	32.0	4.1	4.8	5.7	2.2	12.3
子供がいない世帯	72.7	1.8	28.2	44.0	10.2	26.1	24.0	12.4	28.7	0.4	3.3	6.1	3.0	18.9
高齢者のみの世帯	67.1	1.4	30.0	51.4	9.3	37.1	18.6	6.4	37.9	0.0	0.7	5.0	0.7	20.7

世帯構成別に希望レシピを見てみると、年代別、地域別や世帯年収別と比較して、最低と最高の差が大きく、希望レシピが世帯構成の影響を受けやすいことを示しているものと思われる。

「簡単に作れるメニュー」のニーズは「子供が小学生以下の世帯」で最も高く、仕事や家事に加え、育児による時間負担もあることから時間節約ニーズが高くなっていることが想定される。

「健康・栄養に配慮のあるメニュー」は「高齢者のみの世帯」で最もニーズが高い。これは「野菜が多くとれるメニュー」についても同様で、「高齢者のみの世帯」において、強い健康志向があることがわかる。

「少人数で無駄が出ないメニュー」はライフスタイルの進展とともにニーズが増加しており、「特売品を使用したメニュー」、「子供が好きなメニュー」はライフスタイルの進展とともにニーズが減少している。

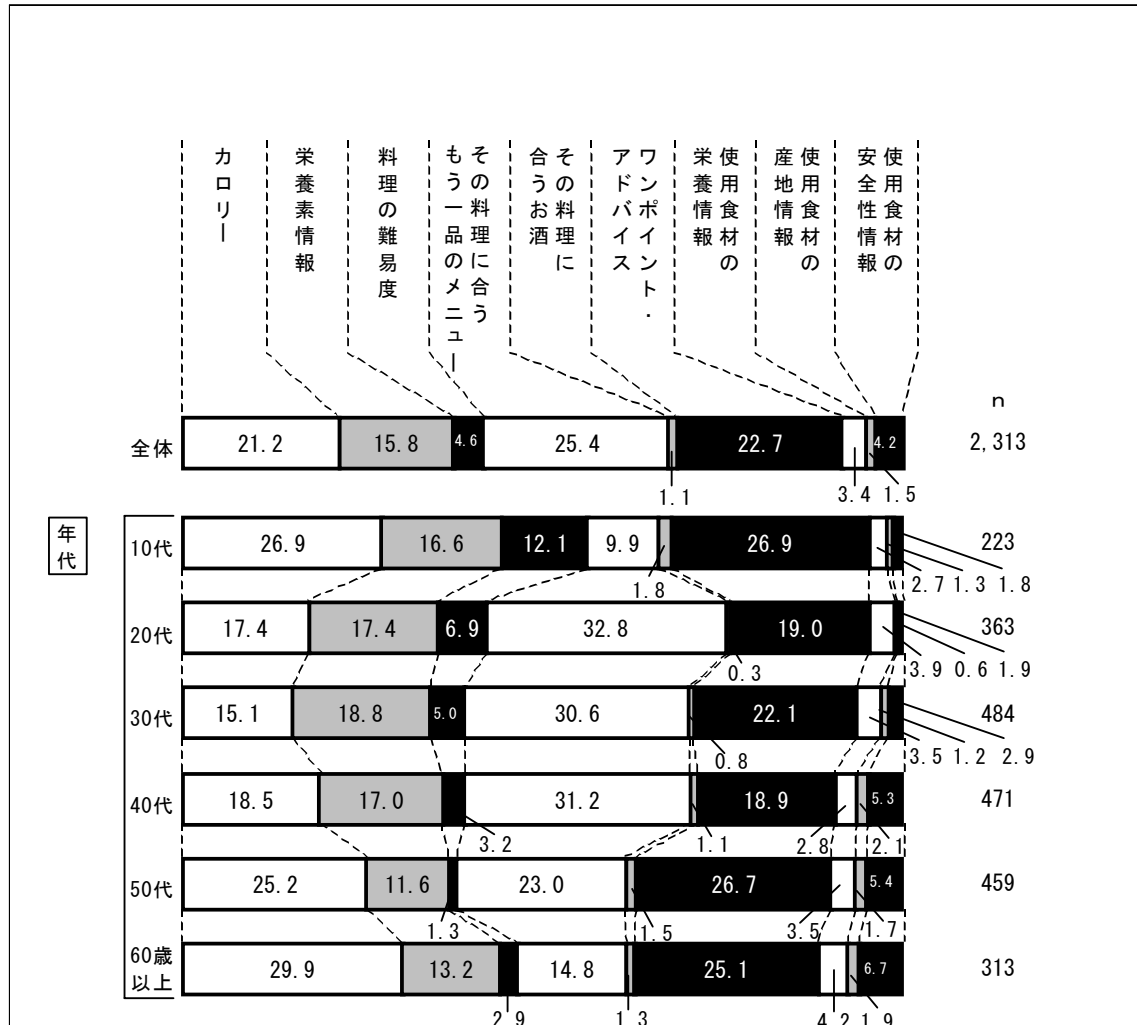
「経済的なメニュー」については、「成長期の子供がいる世帯」で最も高くなっている。教育費に加え、成長した子供自体の支出が増えることにより金銭節約ニーズが高くなっていることが想定される。

6. 希望する付加情報

6. 1. メニュー提案チラシ希望付加情報の年代別特徴

図表Ⅶ-22 年代別メニュー提案チラシ希望付加情報

(単位:%)



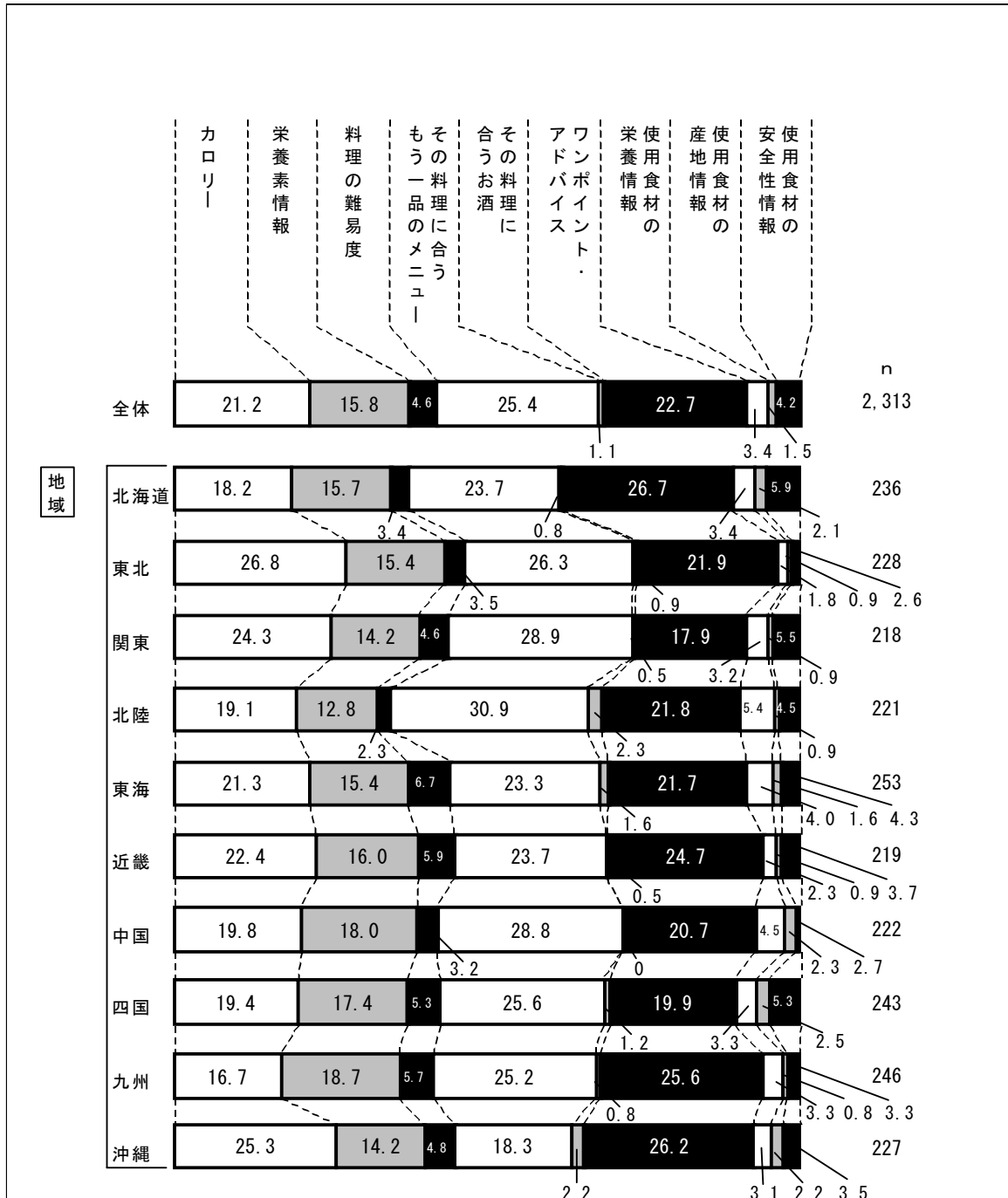
「全体」としては「その料理に合うもう一品のメニュー」のニーズが最も高く、次いで「ワンポイント・アドバイス」、「カロリー」という順になった。

「その料理に合うもう一品のメニュー」については、「20代」、「30代」、「40代」からのニーズが30%以上と高く、「10代」、「60歳以上」が極めて低い点が特徴的であった。総じて、「10代」と「60歳以上」という組み合わせと「20代」、「30代」、「40代」という組み合わせが同様の傾向になった点が特徴的である。

6. 2. メニュー提案チラシ希望付加情報の地域別特徴

図表Ⅶ-23 地域別メニュー提案チラシ希望付加情報

(単位:%)



「その料理に合うもう一品のメニュー」に対するニーズは「北陸」が最も高く、「沖縄」が最も低かった。両者の差は **12.6** ポイントもあり、メニュー提案チラシの付加的情報ニーズに大きな違いがあることがわかる。

「北陸」は他地域と比較して、「栄養素情報」のニーズが最も低くなっている点も特徴的であった。

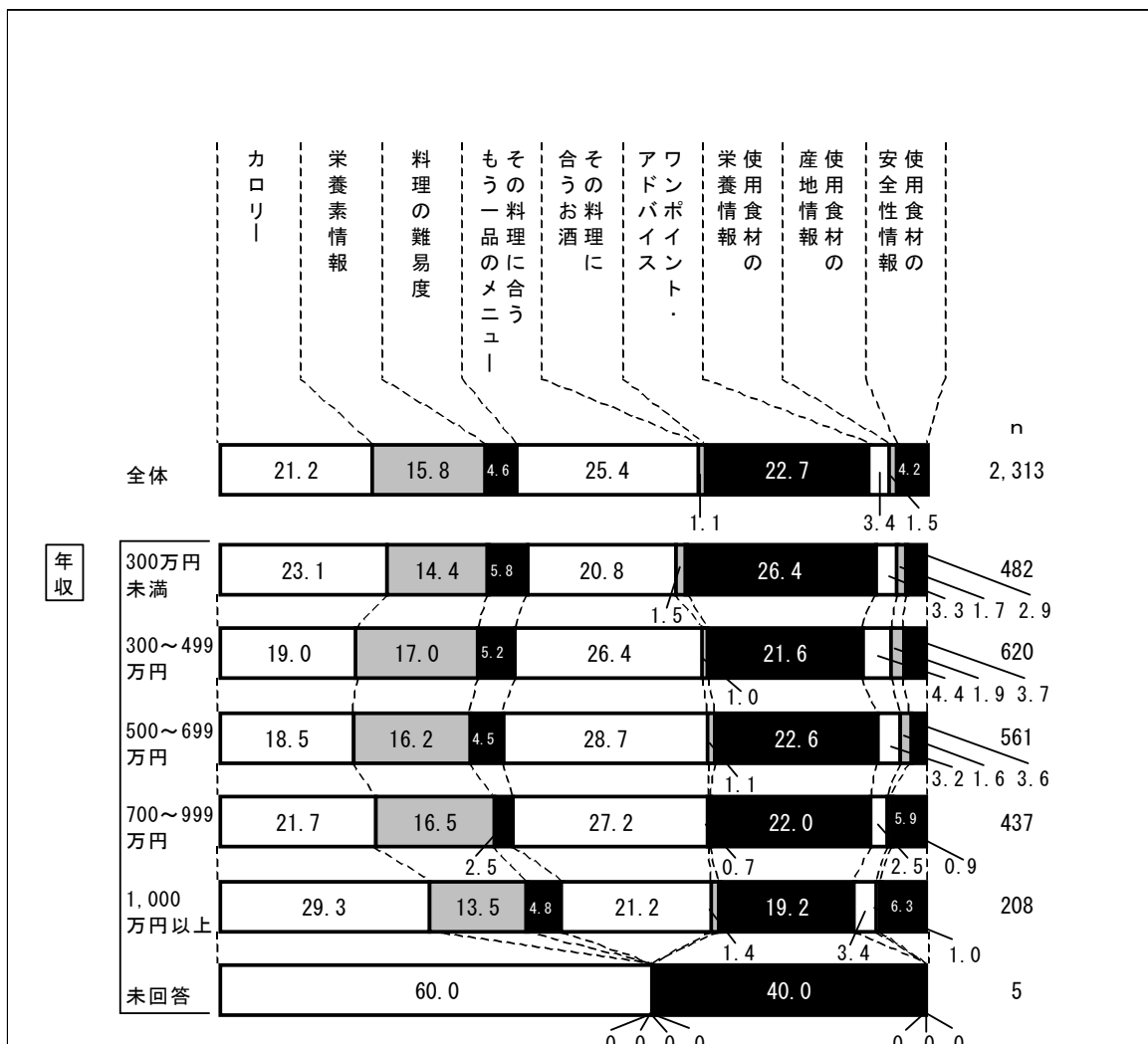
「沖縄」は「ワンポイント・アドバイス」及び「カロリー」に対するニーズが他地域と比較して **2** 番目に高くなっており、付加的情報としてこれらの二点を重視する傾向にあることがわかった。

「カロリー」については、「東北」が最もニーズが高く、「九州」のニーズが最も低くなっていた。「東北」でカロリー情報を重視することは、「**図表Ⅶ-19**」において「東北」が「ダイエット・メニュー」に対するニーズが最も高かったことと一致し、「東北」においてダイエット・ニーズが高いという地域性が存在することがわかる。

6. 3. メニュー提案チラシ希望付加情報の世帯年収別特徴

図表Ⅷ-24 世帯年収別メニュー提案チラシ希望付加情報

(単位:%)



「カロリー」については、世帯年収「1,000万円以上」世帯で突出してニーズが高くなっている点が特徴的である。

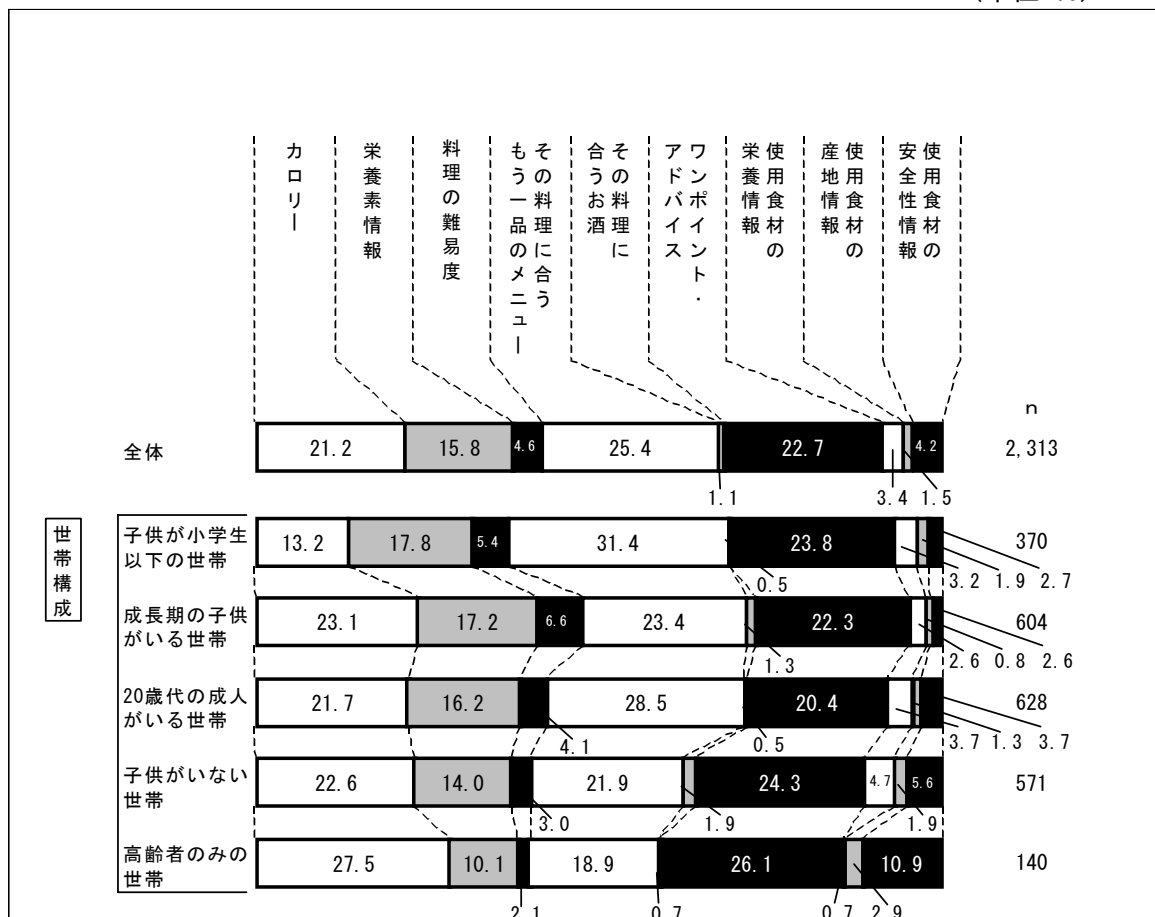
「その料理に合うもう一品のメニュー」としては、世帯年収「500~699万円」世帯で最もニーズが高く、「300万円未満」世帯でニーズが低い。

「ワンポイント・アドバイス」ニーズは、世帯年収「300万円未満」世帯で最も高く、「1,000万円以上」世帯で最も低い。

6. 4. メニュー提案チラシ希望付加情報の世帯構成別特徴

図表Ⅷ-25 世帯構成別メニュー提案チラシ希望付加情報

(単位:%)



「カロリー」については、「高齢者のみの世帯」でニーズが最も高く、「子供が小学生以下の世帯」でニーズが最も低く、「高齢者のみの世帯」の半分以下の割合になっている。

一方、「栄養素情報」や「その料理に合うもう一品のメニュー」については、「カロリー」と逆に、「子供が小学生以下の世帯」でニーズが最も高く、「高齢者のみの世帯」でニーズが最も低くなっている。「子供が小学生以下の世帯」では、子供のために栄養バランスを考慮したボリュームのある食事を作るよう心がけていることが想定される。

「ワンポイント・アドバイス」については、「高齢者のみの世帯」で最もニーズが高く、「20歳代の成人がいる世帯」で最もニーズが低かった。